

# 自社のカーボンニュートラルに向けたチェックリスト

全てにチェックできなくても、自社のカーボンニュートラルに向けた取組を検討するきっかけづくりに活用してみてください！

## STEP① **知る！** カーボンニュートラルとは何かを知ろう！

1. 「カーボンニュートラル」とは何か知っていますか
2. カーボンニュートラルに向けた取組としてどのようなものがあるか知っていますか

もっと詳しく！ [脱炭素ポータル](#) [脱炭素地域づくり支援サイト](#) [中小規模事業者のための脱炭素経営ハンドブック](#)

## STEP② **はかる！** 自社のCO<sub>2</sub>排出量を計算してみよう！

3. 電気、ガス等エネルギーの種類別に毎月の使用量を把握していますか
4. 自社のCO<sub>2</sub>排出量を計算したことはありますか

もっと詳しく！ [温室効果ガス排出量の算定方法](#) [二酸化炭素排出量算定ツール（日本商工会議所）](#)

## STEP③ **つづける！** CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めよう！

5. 省エネルギーの対策を検討、実施したことはありますか
6. 再生可能エネルギーの活用を検討、実施したことはありますか
7. 燃料転換や電化を検討、実施したことはありますか
8. 再生可能エネルギーの環境価値を、売買できることを知っていますか

もっと詳しく！ [省エネポータルサイト](#) [なっとく！再生可能エネルギー](#) [再エネスタート](#)

## STEP④ **つづける！** 自社のカーボンニュートラルへ！

### ▶より詳細な国の施策情報



#### カーボンニュートラル関連・施策マップ

経済産業省のカーボンニュートラル関連施策について、「取組内容(省エネ診断や設備導入)」、「支援対象者」、「公募時期」などの情報をわかりやすく掲載しています。

省エネ最適化診断 省エネお助け隊

省エネ補助金 カーボンニュートラルに向けた投資促進税制  
J-クレジット制度 など



#### 脱炭素化事業支援情報サイト（エネ特ポータル）

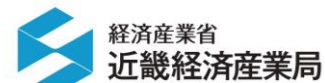
環境省の地球温暖化対策に関する補助・委託事業を紹介しています。絞り込み検索や、キーワードを入力しての事業検索ができます。ぜひ一度お試しください。

グリーンリカバリー事業 SHIFT事業

ストレージバリエーションの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業 など

### ▶発行元／問い合わせ先

令和4年7月発行



経済産業省  
近畿経済産業局  
大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館  
新エネルギー推進室  
電話 06-6966-6055  
kin-smaene@meti.go.jp

### ▶配布元 ※自由にご記入ください



環境省  
近畿地方環境事務所  
大阪市北区天満橋1-8-75 桜ノ宮合同庁舎4F  
地域脱炭素創生室  
電話 06-6881-6511  
CN-Kinki@env.go.jp

事業者のみなさまへ

# カーボンニュートラル って何なん？！ ～はじめの一步～ Ver. 1

気候変動対策と持続的な事業経営に向けたカーボンニュートラルの取組。あなたも「はじめの一步」を、今日から踏み出してみませんか。

# ～事業者のみなさまへ～ カーボンニュートラル達成に向けた取組ステップ

知る！

## STEP①

カーボンニュートラルとは何かを知ろう！

- カーボンニュートラルとは、温室効果ガス※<sup>1</sup>の排出を全体としてゼロを意味します。
- 地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、日本では「2050年までにカーボンニュートラルを目指す」ことを宣言しています。

**Point!** サプライチェーン全体でのカーボンニュートラル達成を目指す動きが大企業を中心に増加、取引先企業にも影響

➡ **中小企業にもカーボンニュートラルの取組が求められる時代に！**

※<sup>1</sup> 大気を温める特性をもった気体の総称。その中でも二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）が大半を占めるため、地球温暖化対策ではCO<sub>2</sub>削減に関するものが多い。

はかる！

## STEP①

自社のCO<sub>2</sub>排出量を計算してみよう！

- 毎月のエネルギー使用量（燃料や電気）と、それぞれに設定された排出係数※<sup>2</sup>をかけ合わせることで、自社のCO<sub>2</sub>排出量を計算することができます。

**Point!** 毎月のエネルギー使用量が把握できれば、算定ツールを活用してすぐに計算可能

**Point!** 自治体や商工会議所等の団体が実施している省エネ診断等を積極的に活用

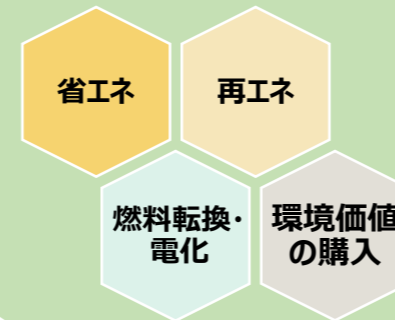
➡ **自社のエネルギー使用量を正しく把握することで、CO<sub>2</sub>削減方法が見えてくる！**

※<sup>2</sup> 1単位あたりの活動量から排出されるCO<sub>2</sub>の量を求める係数。

へらす！

## STEP②

CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めよう！



- カーボンニュートラルの取組を自社の戦略や経営計画に位置づけることで、他社との差別化や自社のPRにつながります。
- 金融機関においても、事業者のカーボンニュートラルの取組を後押しする動きが進んでいます。

**Point!** CO<sub>2</sub>を削減すると経営面からも様々なメリットが得られる

**Point!** 世界的な流れを受けてESG投資※<sup>3</sup>が拡大

➡ **カーボンニュートラルの取組を推進することで、新たなビジネスチャンスに繋げよう！**

※<sup>3</sup> 投資家や金融機関が環境などの要素を考慮して行う投資のこと。

- Step①で得られた自社のCO<sub>2</sub>排出状況を元に、どの部分にCO<sub>2</sub>削減の余地があるかを検討し、CO<sub>2</sub>削減効果の大きいものや、取り組みやすいことから優先的に実施します。

**Point!** CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けては、多種多様な取組の中から自社にあったものを検討し、組み合わせて実施

省エネ		再エネ	
高効率機器の導入や運用改善でエネルギー消費量を削減		太陽光発電機器の導入・利用や再生可能エネルギー由来の電力の購入	
設備導入	運用改善	①自家発電・自家消費	②小売電気事業者との契約（再エネ電気メニュー）
LED照明、高効率パッケージエアコン、コンプレッサ等の導入	空調機フィルターのコイル等の清掃、機械の運転時間短縮等		
燃料転換・電化		環境価値の購入	
温室効果ガスの排出量ができるだけ少ないエネルギーに転換		温室効果ガスの排出量を排出しないという価値そのものを購入し自社の削減量としてカウント	
例) ・重油ボイラーを都市ガスボイラーへ転換 ・ガソリン車をハイブリッド車や電気自動車へ転換		・Jクレジット制度 ・非化石証書	

➡ **CO<sub>2</sub>削減の取組を進めることで、ランニングコストの削減に繋がる可能性も！**

つづける！

## STEP③

自社のカーボンニュートラルへ！

資金調達に対する優遇

競争力強化  
知名度や認知度向上



自社技術を活用した  
新事業への展開

人材獲得力の強化

